

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	石川県小松市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	小松市伝統文化等活用・活性化	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
歌舞伎「勧進帳」の舞台「安宅の関」の所在地である小松市では、例年5月に「全国子供歌舞伎フェスティバル in 小松」を開催し、ほぼ同時期に行われる「お旅まつり」では曳山子供歌舞伎が上演され、「歌舞伎のまち・小松」として地域活性化を図っている。「歌舞伎のまち・小松」による地域活性化を推進するため、以下の取組みを実施する。 「お旅まつりの曳山行事」にかかる曳山の修理及び修理現場公開 「お旅まつりの曳山行事」（石川県指定無形民俗文化財）にかかる曳山の修理を実施し、あわせて修理現場の公開を行う。小松市を代表する伝統的な祭り「お旅まつり」をより円滑に継承・発展させ、曳山及び曳山子供歌舞伎に関する市民の関心を高めることにより、地域活性化を図っていく。			
6 実施体制			
小松市が、本実施計画にかかる全体の企画・調整や、補助事業に係る指導等を行う。主な担当課、役割は以下の通り。 にぎわい交流部観光文化課：補助事業における石川県指定文化財「お旅まつりの曳山行事」の取扱等に関する指導・調整等 また、補助事業は次の団体が実施する。 こまつ伝統文化活性化実行委員会 構成団体（大文字町曳山行事保存会・西町曳山行事保存会・中町曳山行事保存会・寺町曳山行事保存会・京町曳山行事保存会・材木町曳山行事保存会・龍助町曳山行事保存会・八日市町曳山行事保存会・小松市）			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 51,956 千円	平成30年度申請額： 8,330 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
本事業により、小松市を代表する伝統的な祭り「お旅まつり」がより円滑に継承・発展され、さらなる地域の活性化や町内のコミュニティ醸成を進める。あわせて実施する修理現場の公開によって曳山及び曳山子供歌舞伎に対する市民の関心がさらに高まることが期待できる。修理によって本来の華やかさを蘇らせた曳山は、「歌舞伎のまち・小松」のシンボルとして地域活性化に活かし、国内外に向けて発信することで、市の10年ビジョンに掲げる「アクセスと地域資源を活かした交流人口拡大」に寄与することができる。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	お旅まつりでの「曳山」曳き揃えおよび「曳山子供歌舞伎」の上演		
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
現段階で計画はないが、本事業及び本事業の用具を用いて祭礼が行われる地域で伝統的建造物群保存対策調査を予定しており、文化財の総合的な保存・活用を図る機運を高めていくよう努めたい。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	小松市にぎわい交流部観光文化		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1：	地域の文化資源を活用した集客・交流				
評価指標区分 1：	地域の祭礼行事等への入込客数（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標 1：	曳山子供歌舞伎上演並びに曳山八基曳揃え入込客数	関連事業：	①		
目標値 1：	【現状値】 平成 28 年度 3.4 万人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 3.9 万人				
設定根拠 1：	曳山子供歌舞伎上演客数 5， 2 0 0 人を維持・継続。曳山八基曳揃えの観客数を毎年1,000人程度増加と設定。				
進捗状況 1：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
2.5 万人	万人	万人	万人	万人	万人
-180%					
目標区分 2：	地域の文化資源を活用した集客・交流				
評価指標区分 2：	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標 2：	こまつ曳山交流館みよっさ（曳山の公開施設）年間入館者数	関連事業：	①		
目標値 2：	【現状値】 平成 29 年度 4.7 万人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 5.0 万人				
設定根拠 2：	入館者数 5 万人台回復を見込み、前年比年1.5%増を設定。				
進捗状況 2：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
4.4 万人	万人	万人	万人	万人	万人
-100%					
目標区分 3：	伝統文化の継承体制の維持・確立				
評価指標区分 3：	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標 3：	曳山行事八町の保存会の会員数	関連事業：	①		
目標値 3：	【現状値】 平成 28 年度 105 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 105 人				
設定根拠 3：	少子高齢化の社会情勢のなか、曳山行事の担い手は年々減少傾向にあるが、現状維持を設定。				
進捗状況 3：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
104 人	人	人	人	人	人
#DIV/0!					

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	こまつ伝統文化活性化事業			実施団体：	こまつ伝統文化活性化実行委員会	
事業区分：	用具等整備			事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度	
事業概要：	「お旅まつりの曳山行事」にかかる曳山の修理及び修理現場公開行う。平成29年度から33年度の5ヵ年で、八日市町、大文字町、西町、中町、寺町の順で曳山修理及び修理現場公開を実施し、「お旅まつり」の継承・発展させるとともに、地域活性化を図る。					
評価指標区分：	・ 保存会会員数の変化（維持）				（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	曳山行事八町の保存会の会員数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 105 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 105 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
104 人	人	人	人	人	人	
#DIV/0!						